



～修学旅行を実施しました～

10月22日(木)～10月23日(金)に6年生は長崎へ、23日(金)は全学年が修学旅行に出かけました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策として、行き先や見学場所等を変更しました。また、マスク着用を基本として、バスの中でも会話を制限したり、途中では検温や手指の洗浄・消毒を実施したりするなど、制約も多くありましたが、子供たちが各教科等で学んだ内容を実際に見学したり体験したりして深めることができたこと、また、公共の場での道徳についても学ぶ機会となり、充実した修学旅行となったようです。

行き先は、1年生が福岡市動物園、福岡市科学館、2年生はマリワールド、3年生は大隈重信記念館、県立博物館、森林公園、4年生は志田焼の里博物館、佐賀城本丸歴史館、5年生は、いのちのたび博物館、北九州エコタウンセンター、6年生は長崎方面へ出かけました。

6年生の初日は残念ながら雨となりました。行きのバスの中では、原爆投下時の長崎市内の様子、被爆者の方の平和の尊さを伝えるDVDを鑑賞したりガイドさんからの説明を受けたりして、最初の目的地である原爆資料館や原爆落下中心地を見学しました。事前学習により、資料館では丁寧に説明書きを見たり、展示物を見たりして時間が足りないくらい集中していました。昼食を済まし、平和集会を行いました。集会では黙祷後、平和の尊さと戦争のない世界を実現するための宣言を行い、全校でなかよしタイムに作成した折り鶴を献げました。その後、出島や長崎歴史文化博物館、防空壕を見学しました。子供たちは、説明に熱心に耳を傾け、見聞きしたことをしおりに書き込んでいました。社会科で歴史を学んでいることもあり、出島や博物館では、活動班で予め立てた調べ学習の計画をもとに、資料や説明書きからメモを取っていました。

2日目は、如己堂、山里小学校、浦上天主堂、大浦天主堂、グラバー園等をクラスに分かれて見学し、昼食後は買い物を楽しみました。永井隆さんが暮らした如己堂は、子供たちにとって、特に印象に残る建物だったようで、早速図書室の本を借りて読んだ児童もいました。

今回の修学旅行では、電車を利用したフィールドワークはできませんでしたが、戦争の傷跡を実際に目にすることで、教科書だけでは学べない情報を自分の目で確かめ、改めて戦争の悲惨さを実感するとともに、平和の尊さや長崎の歴史や文化に触れることで、地域による文化の違いなどにも気付くことができたようです。また、グループ活動を円滑に進めるために、時間を守ることや協力すること、ゆずり合う気持ちや助け合うことの大切さを改めて実感し、友情や絆を深めた充実した2日間となりました。本校では日頃望ましい生活習慣を身に付けるため、「すみそあじ」に取り組んでいますが、今回の修学旅行先でも、日頃の成果を発揮し実践できていたことを大変嬉しく思いました。

保護者の皆様には、体調管理とともに弁当作りや準備等にご協力いただきありがとうございました。



～5年生宿泊体験学習～

15日（木）～16日（金）の2日間、本校のみで施設利用可能であった福岡市背振少年自然の家に場所を変更して、5年生が宿泊体験学習を行いました。

1日目は入所式、オリエンテーションを行った後、班に分かれて、プリントに書かれた問題（植物の名前やクイズ）を施設の周辺を周りながら解いていく「トレジャーハンティング（宝探し）」に挑みました。この活動を通して、子供たちは、自然に触れながら、背振の良さ、魅力を感じることができました。また、途中で昼食をとりましたが、自然の中で食べる弁当はよりおいしかったようです。最初にゴールした班には、職員の方が手作りされた「リョウブの木のトロフィー」が授与されました。休憩後はキャンプファイヤーに備えて、薪の準備や会の進行、出し物の練習等、班で決めた役割を協力しながら進めていました。夕食、入浴を済ませ、1日目の楽しみである「キャンプファイヤー」を行いました。本番ではきれいな星空のもと、真っ暗の中でたき火を囲み、練習の成果を発揮して、クイズを中心に参加者が楽しめる内容で場を盛り上げていました。

2日目は、荷物の片付けや部屋の掃除を済ませ、野外炊飯でカレー作りにチャレンジしました。薪で火をおこし、鍋を使っての炊飯や野菜の皮をむき、刻んでカレーを作るなど初めて体験する子供も多かったようですが、どの班もおいしく出来上がりおかわりをして食べていました。昼食後の片付けでは、食器具の洗浄や炉の周りの掃除など、指導員の方に教えていただきながら、「使う前よりもきれいに片付ける」ことを目標に、班で協力して取り組むことができました。

この2日間、子供たちはテレビやゲームもなしの生活でしたが、班活動を中心に時間を意識しながら各自が責任をもって役割を果たすこと、思いやりの心や協力することの大切さを学ぶことができました。また、家族の一員として日頃は守られていることを実感し、家族への感謝の気持ちも育まれたようです。今後は学校や家庭生活中、自分でできることを増やしさらに成長することを願っています。



～スクールサポートスタッフが導入されました～

学校再開後、新型コロナウイルス感染症予防対策として、学校では子供たちが下校した後、共用で使ったり、触ったりするトイレや昇降口、ドアノブ、スイッチや水道の蛇口、手すり等を職員で消毒してきました。今週からはお二人のサポートスタッフ（福田麻里子さん、水町俊治さん）に消毒業務に携わっていただくことになりました。今後職員は、放課後の時間を有効活用し授業準備や児童対応、事務処理等の通常業務にあたっていきます。



～アルコールハンドジェルを寄贈していただきました～

基山町で事業されている仲間が結成された「The Kiyama Crew」で販売されたチャリティーTシャツの収益の中から、「アルコールハンドジェル」を本校の保護者で（株）CROSS-T-NESTの代表者である寺崎靖倫様から寄贈していただきました。今後、図書室や特別教室、学校行事等で活用させていただきます。皆様のお心遣いに感謝いたします。ありがとうございました。

